

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 10月号

2023年10月3日
(一財) マイクロマシンセンター
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)

令和5 (2023) 年7月分速報からの改訂状況 (令和5(2023)年9月27日発表) より

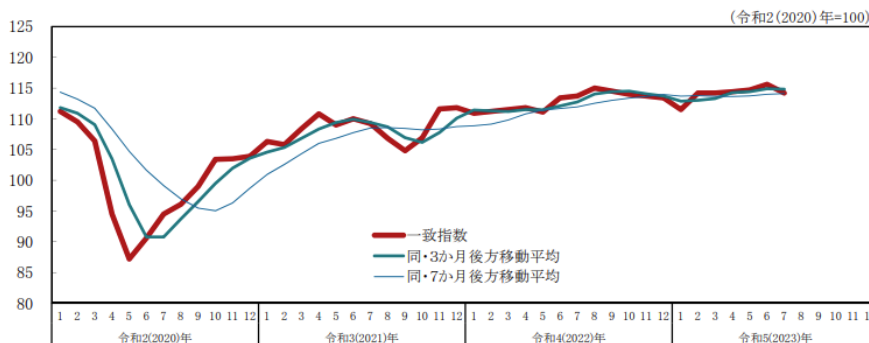
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202307rsummary.pdf>

- ① 7月分 CI (令和2(2020)年 = 100) (改訂値)は、
先行指数：108.2、一致指数：114.2、遅行指数：105.7

	7月分C I (令和2(2020)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	107.6	108.2
一致指数	114.5	114.2
遅行指数	106.1	105.7

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (C I 一致指数) は、改善を示している。

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和5 (2023) 年7月分 (速報) (令和5年9月7日公表)」 pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202307psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202307report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（9月）（内閣府、令和5年9月26日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/09kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

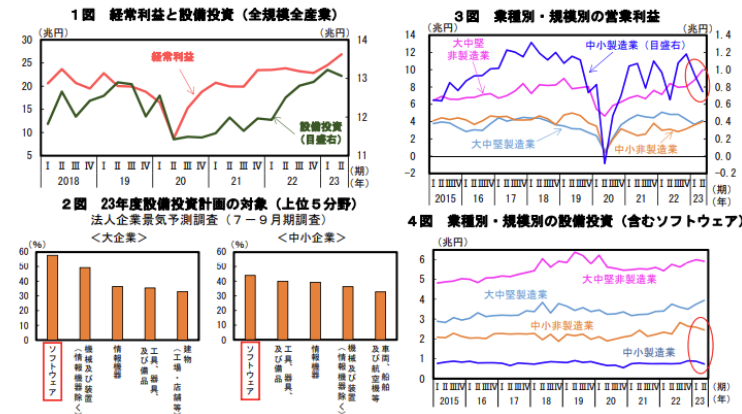
- ・ 景気は、緩やかに回復している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

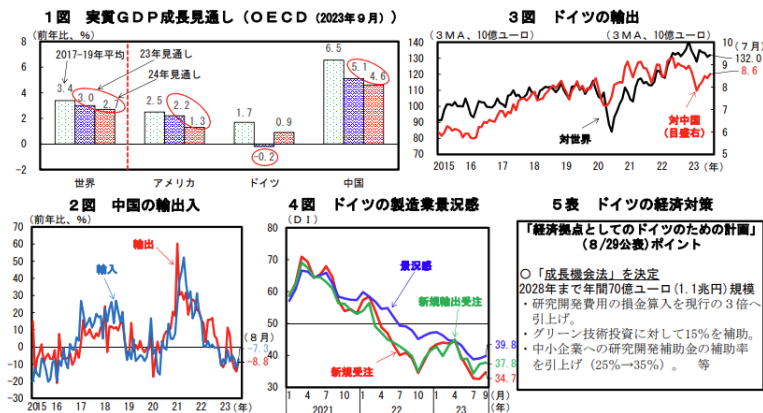
今月の指標(5) 企業収益及び設備投資の動向

- ▶ 23年4-6月期の経常利益は過去最高を更新。設備投資も高水準で推移（1図）。今年度の設備投資計画において、大企業・中小企業ともにデジタル化や省力化を背景にしたソフトウェア投資を最も重視（2図）。
- ▶ 本業による収益である営業利益も総じてみれば増加。ただし、中小企業では、製造業は2期連続の減益（3図）。設備投資も減少（4図）。継続的な買上げに向け、適切な価格転嫁とともに、中小企業が設備投資を進め、本業の収益力を高めるための後押しが重要。



今月の指標(7) 世界経済の下方リスク

- ▶ アメリカ経済は回復しているものの、中国は持ち直しの動きに足踏み、ドイツを始め欧州も足踏み状態。24年の世界経済は減速の見通し（1図）。中国における不動産市場の停滞による下振れリスクに注意。
- ▶ 中国の輸出は、18年以降、米中貿易摩擦を受け減速。感染症収束後の現在も輸出ともに弱含み（2図）。
- ▶ ドイツは、中国向け輸出が20年以降停滞（3図）。景気感は大幅に悪化（4図）。ドイツ政府は、国内企業の競争力強化のための経済対策を発表（5表）。



- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和5年7月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年9月14日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

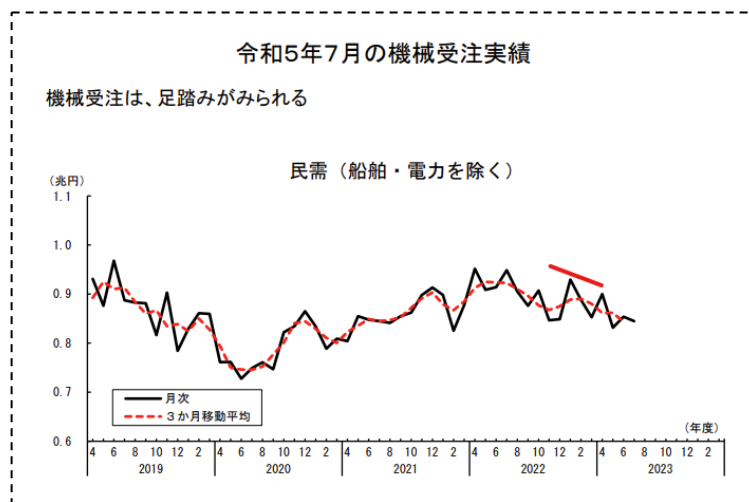
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2307juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2023（令和5）年6月前月比0.2%増の後、7月は同9.8%増の2兆9,014億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比26.6%増の1兆2,790億円、官公需は同0.7%増の3,431億円、
外需は同1.6%増の1兆1,957億円、代理店は同7.9%減の1,150億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2023（令和5）年6月前月比2.7%増の後、7月は同1.1%減の8,449億円となった。
このうち、製造業は同5.3%減の4,067億円、非製造業（除く船舶・電力）は同1.3%増の
4,376億円となった。

(以下図表は「令和5年7月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2307gaiyou.pdf>



対前月(期)比 (単位:%)

需要者	2022年 (令和4年)		2023年 (令和5年)			2023年 (令和5年)			
	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 見通し	4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	△9.3	△1.0	△8.7	7.1	△2.8	11.5	△2.9	0.2	9.8
民需 (船舶・電力を除く)	△1.9	△8.3	7.1	△2.2	△2.1	8.5	△5.3	3.2	26.6
製造業 非製造業(除船・電)	△0.4	2.1	3.2	△8.8	△1.4	11.0	△19.4	9.8	1.3
官公需	△8.4	△3.6	19.9	12.2	△22.5	6.8	8.9	△2.9	0.7
外需	△12.8	2.4	△21.4	10.7	3.1	12.3	12.0	△6.9	1.6
代理店	△3.7	1.4	0.1	0.6	1.8	8.6	△20.4	19.5	△7.9
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△2.1	0.0	△2.1	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2023年6月末時点の調査。

▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年7月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2307juchu-1.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2023年9月29日発表)

【2023年8月分】鉱工業指数の動向 (速報) より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2020_202308sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2020_202308sj.html

— 生産は一進一退 —

- ・ 今月は生産は横ばい、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、9月、10月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は一進一退で推移している。

・生産は、前月比0.0%の横ばい。

上昇業種：石油・石炭製品工業、電気・情報通信機械工業、金属製品工業等

低下業種：自動車工業、鉄鋼・非鉄金属工業、輸送機械工業 (除、自動車工業) 等

・出荷は、前月比0.1%の上昇。

上昇業種：電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、自動車工業等

低下業種：送機械工業 (除、自動車工業)、化学工業 (除、無機・有機化学工業・医薬品)、鉄鋼・非鉄金属工業等

・在庫は、前月比-1.7%の低下。

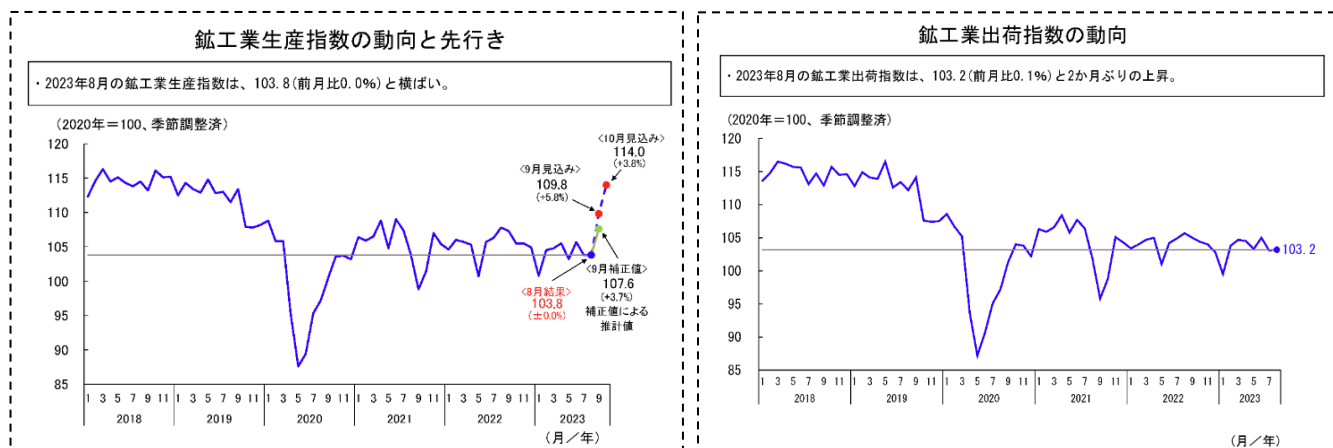
低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等

上昇業種：石油・石炭製品工業、化学工業 (除、無機・有機化学工業・医薬品)、パルプ・紙・紙加工品工業等

8月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230929_1.html

(解説) 8月の鉱工業生産は、石油・石炭製品工業等が上昇する一方で、自動車工業等が低下したことなどから、全体として前月比横ばい。基調判断は、「一進一退」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数 (最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

経済解析室ニュース (サービス業・製造業の解説・分析レポート・統計)

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年9月29日発表より抜粋)

【2023年7月動向概況】

- ・ **2023年7月のグローバル出荷額は**
3,622億円、前年比97.6%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ **品目別出荷は**
受動部品 (前年比96.8% 1,705億円)、接続部品 (同92.7% 892億円)、
変換部品 (同97.2% 550億円)、その他の電子部品 (同113.2% 474億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**
日本 (前年比109.6% 821億円)、米州 (同95.8% 411億円)、
欧州 (同116.0% 395億円)、中国 (同91.8% 1,274億円)、
アジア・その他 (同89.9% 715億円) となった。

1. 月別出荷金額 (2023.09.29発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2023年度						2023年度累計		
	5月		6月		7月		4月-7月		
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	
世界計	3,364	98	3,559	93	3,622	97	13,852	96	
(日本)	673	104	797	106	821	109	3,063	107	
品目別	受動部品	1,621	93	1,673	87	1,705	96	6,528	91
	コンデンサ	1,158	92	1,191	86	1,215	98	4,649	91
	抵抗器	150	95	158	87	157	90	621	92
	トランス	44	111	46	103	42	91	177	103
	インダクタ	227	91	246	91	261	99	952	92
	その他	41	96	29	69	28	62	127	72
	接続部品	805	96	884	93	892	92	3,348	94
	スイッチ	338	111	360	103	358	104	1,369	105
	コネクタ	462	87	520	87	530	86	1,963	87
	その他	4	124	3	114	3	98	14	116
	変換部品	472	98	519	103	550	97	2,085	100
	音響部品	22	108	24	105	26	105	97	105
	センサ	190	95	203	99	195	91	772	94
	アクチュエータ	259	99	292	106	328	100	1,215	105
	その他の電子部品	464	122	481	111	474	113	1,890	114
	電源部品	244	137	255	119	229	111	968	126
高周波部品	220	109	226	103	244	114	922	103	

2. 地域別出荷金額 (2023年度)

地域別出荷金額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	5月		6月		7月		4月-7月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	3,364	98	3,559	93	3,622	97	13,852	96
日本	673	104	797	106	821	109	3,063	107
米州	436	107	433	98	411	95	1,668	99
欧州	423	112	412	108	395	116	1,580	110
中国	1,091	89	1,199	83	1,274	91	4,609	88
アジア他	735	93	712	91	715	89	2,915	90

詳細は以下の **JEITA (電子情報技術産業協会)** ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上